

# 位 置

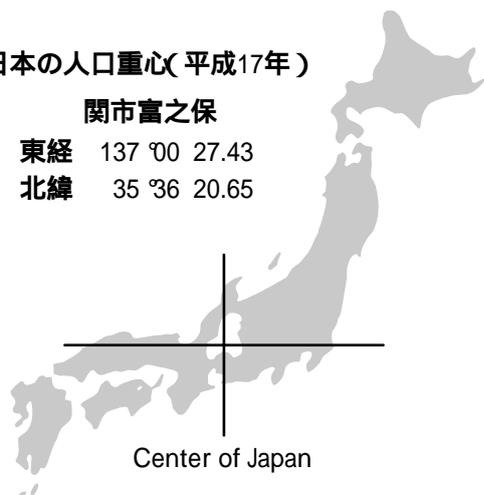
平成20年4月1日 現在

日本の人口重心(平成17年)

関市富之保

東経 137 00 27.43

北緯 35 36 20.65



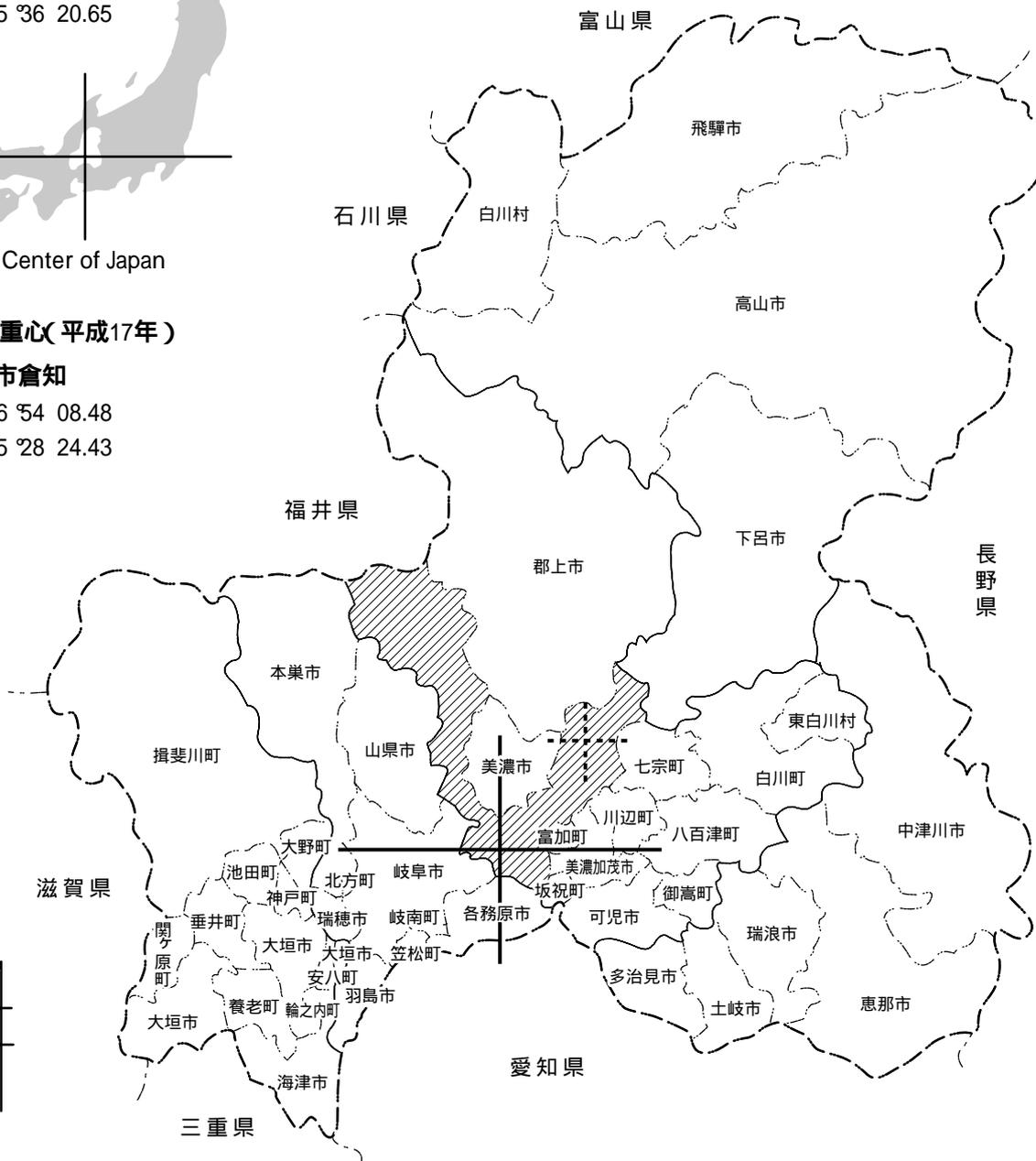
Center of Japan

岐阜県の人口重心(平成17年)

関市倉知

東経 136 54 08.48

北緯 35 28 24.43



方位	地名	経度	方位	地名	緯度
極東	鳥屋市	東経 137 06 04	極南	迫間	北緯 35 25 39
極西	川浦	東経 136 39 57	極北	川浦	北緯 35 48 38
東西 39.3km			南北 42.6km		
面積	472.84km <sup>2</sup>		市役所	東経 136 55 04 北緯 35 29 45	海拔 56.60m

# 関地域の変遷



関地域面積は平成5年10月1日建設省国土地理院から公表された102.51 km<sup>2</sup>である。(昭和36年度まで102.72 km<sup>2</sup>、昭和37年度から平成元年11月10日までは103.30 km<sup>2</sup>、平成5年9月30日までは102.53 km<sup>2</sup>であった。)

資料： 関市史  
国土交通省

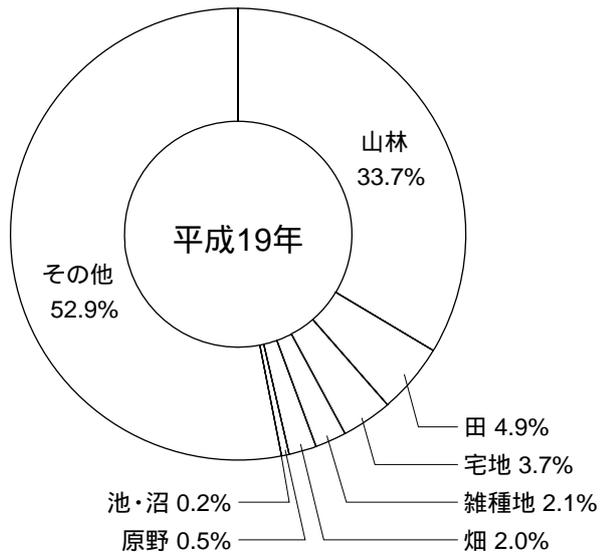
## 関市・武儀郡五町村が合併に至るこれまでの経緯

- 平成14年 4月10日 武儀郡町村会から提出された合併協議の促進要望書を受ける  
 6月7日 武儀郡の町村会及び町村議会議長から提出された合併協議の促進要望書を受ける  
 8月20日 「武儀地域市町村合併問題研究会」を開催し、任意の合併協議会設立を決定  
 10月1日 「合併協議会設立準備室」設置  
 10月9日 「中濃地域市町村合併検討協議会」設立・第1回協議会
- 平成15年 2月27日 「第6回中濃地域市町村合併検討協議会」任意の合併協議は6回開催  
 3月14日 「関市・武儀郡4町村合併協議会」の議決（関市・洞戸村・板取村・武儀町・上之保村）  
 3月17日 「関市・武儀郡4町村合併協議会」の告示  
 3月31日 「第1回関市・武儀郡4町村合併協議会」
- 平成16年 1月16日～2月5日 「新市建設計画住民説明会」を開催（5市町村10会場）  
 3月17日 武芸川町の加入に伴い、名称を「関市・武儀郡町村合併協議会」とする  
 5月12日～5月21日 「合併協議の住民説明会」を開催（6市町村8会場）  
 6月10日 「第13回関市・武儀郡町村合併協議会」を開催し、その後「合併協定調印式」  
 6月25日 「6市町村の廃置分合」について市町村議会の議決  
 7月28日 「合併申請書」を知事に提出  
 11月5日 「市町村の廃置分合」について総務大臣の告示
- 平成17年 2月7日 新「関市」誕生



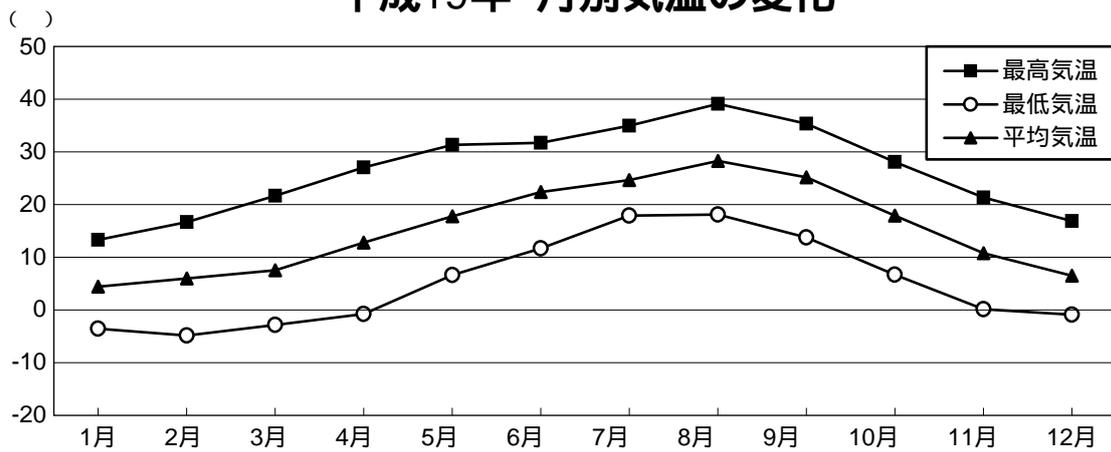
市面積は国土交通省国土地理院から公表された472.84km<sup>2</sup>である

## 土地の利用状況



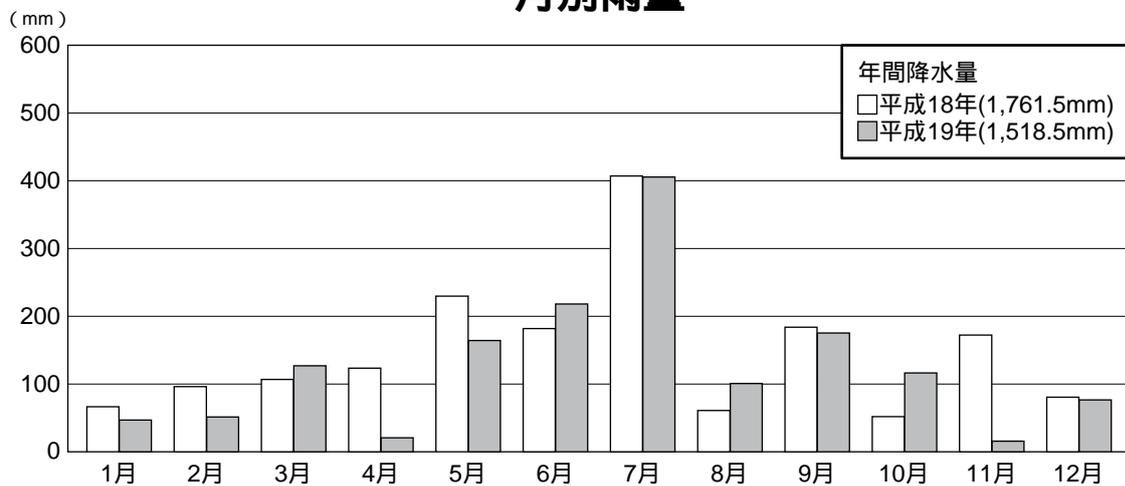
資料：税務課

## 平成19年 月別気温の変化



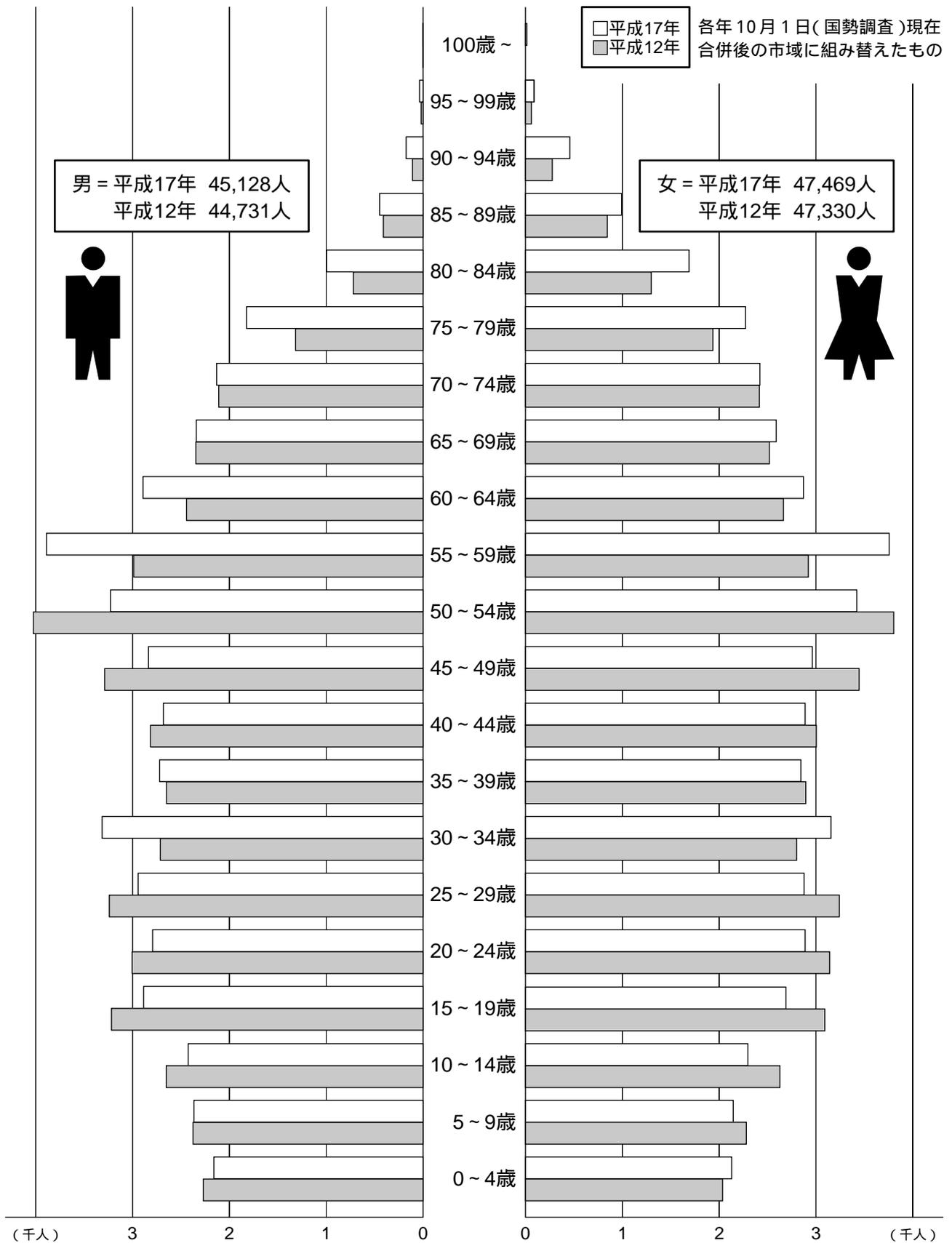
資料：交通防災課

## 月別雨量

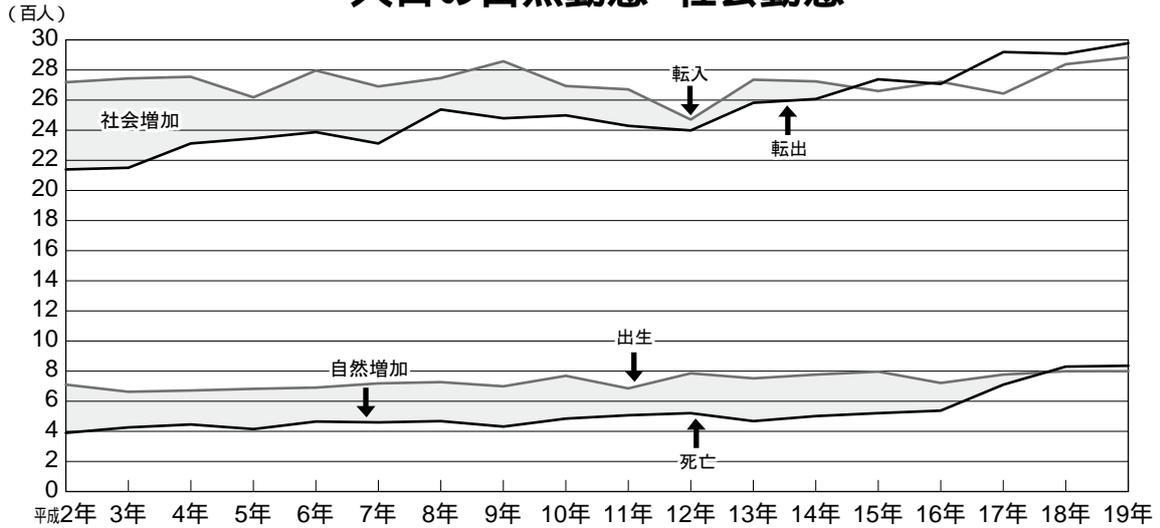


資料：交通防災課

# 人口ピラミッド

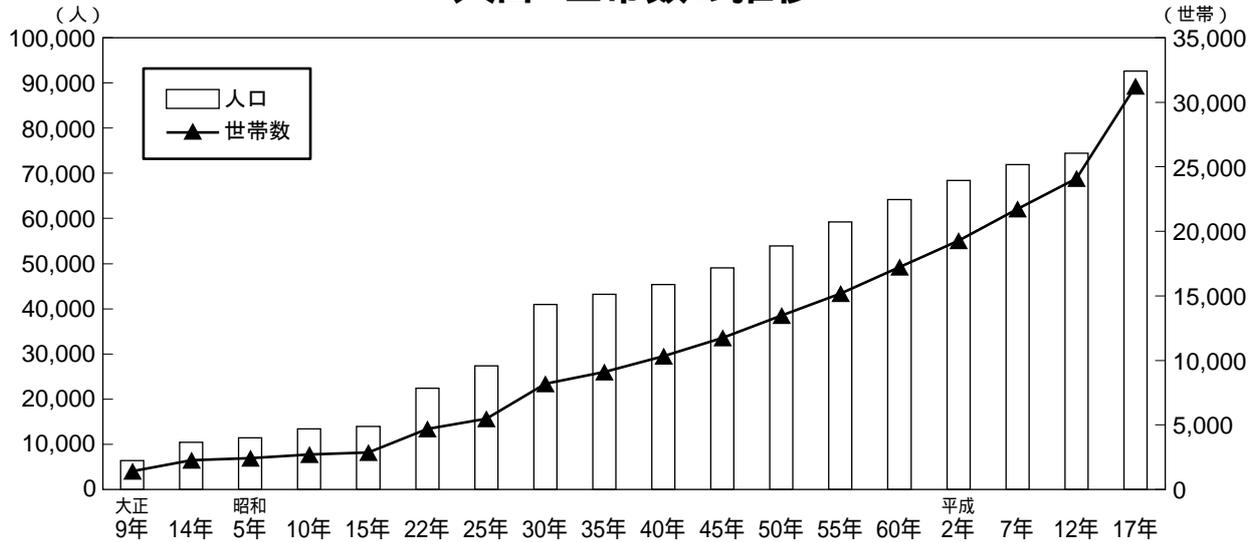


## 人口の自然動態・社会動態



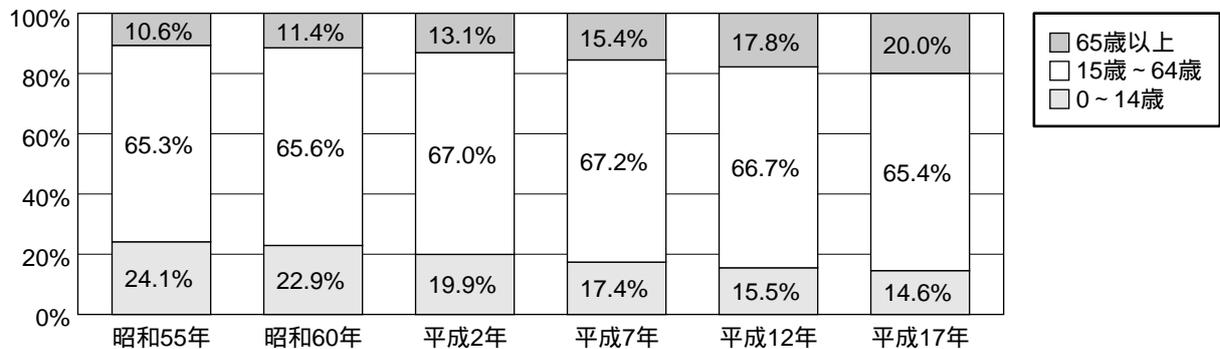
資料：市民課

## 人口・世帯数の推移



資料：国勢調査

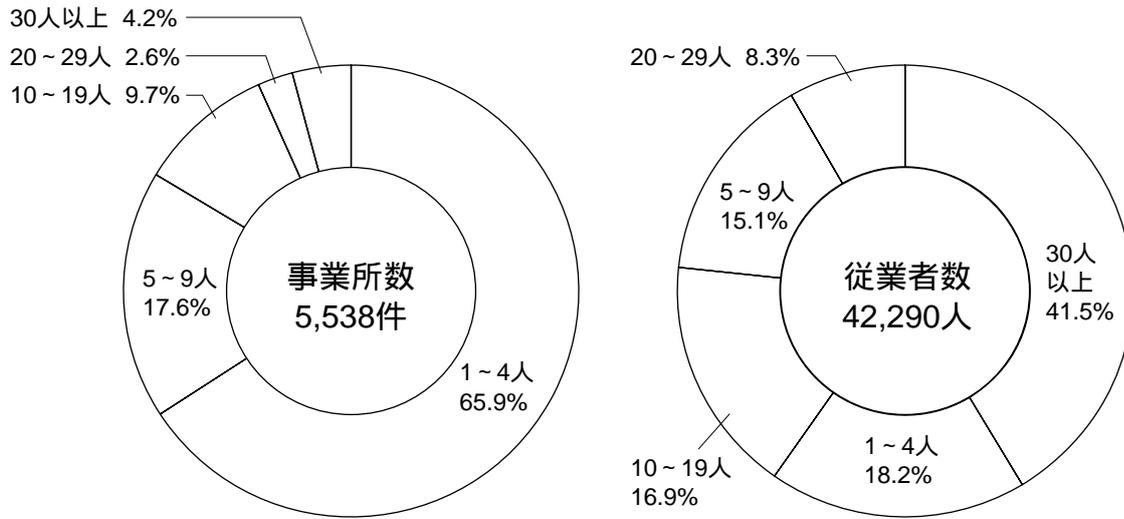
## 年齢3区分別人口



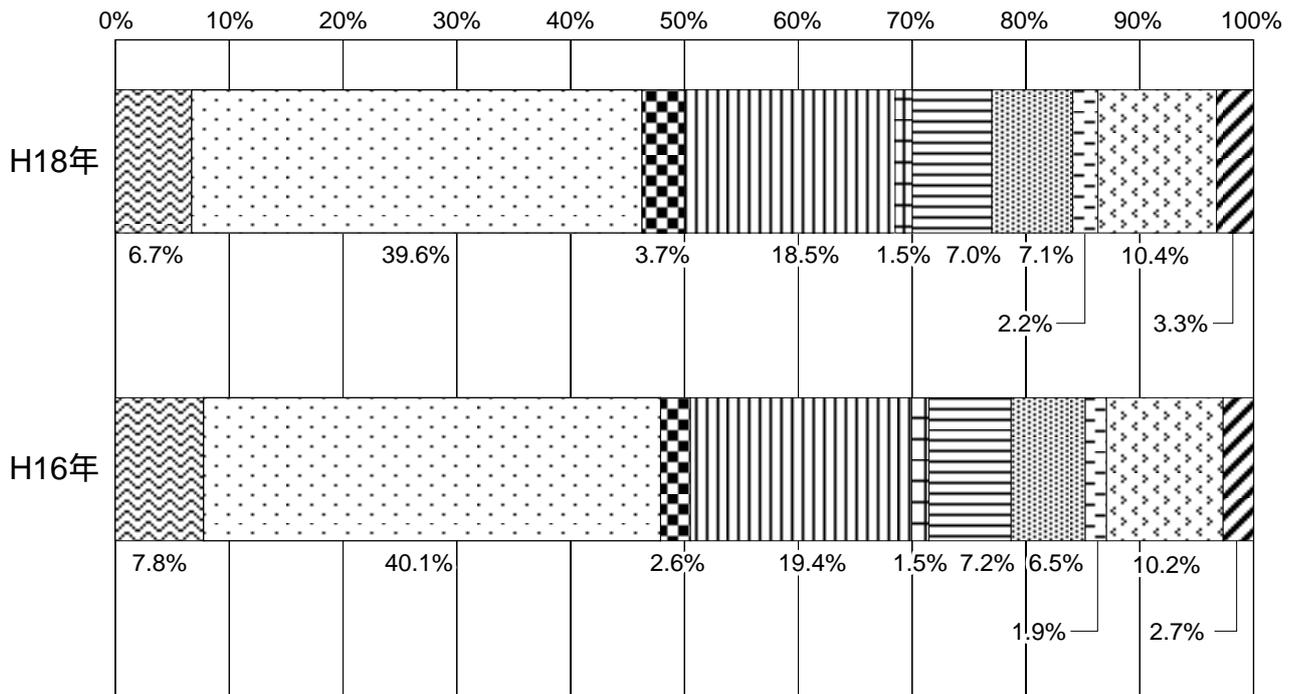
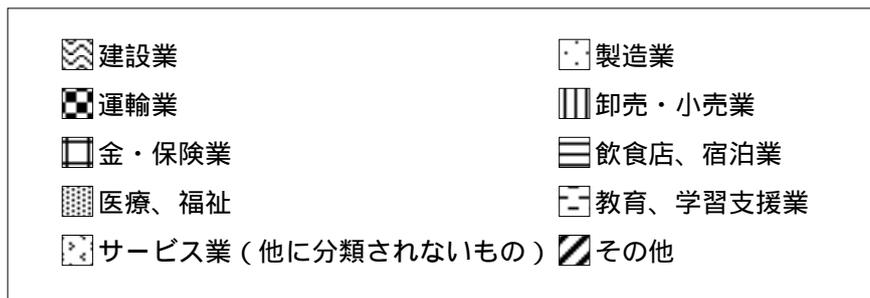
(注) 合併後の市域に組み替えたもの

資料：国勢調査

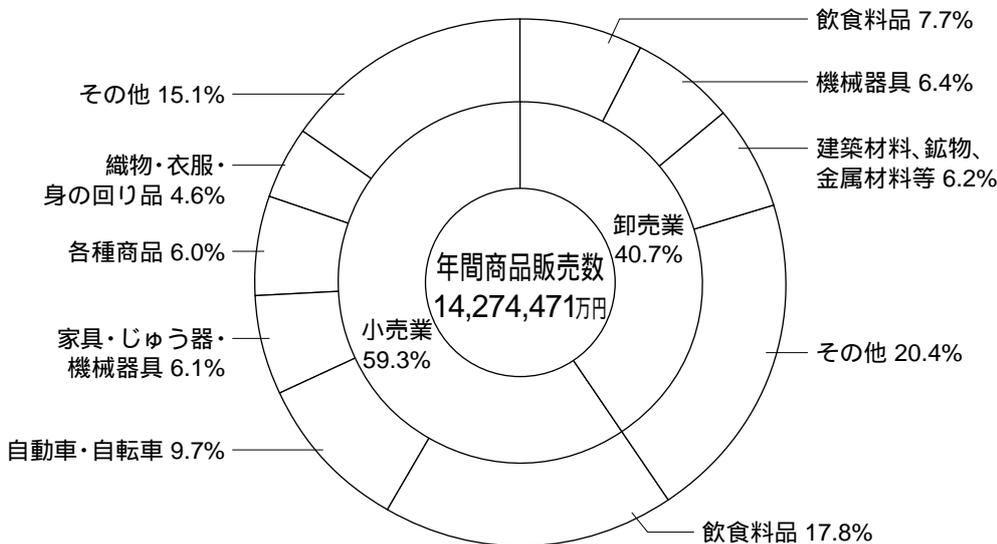
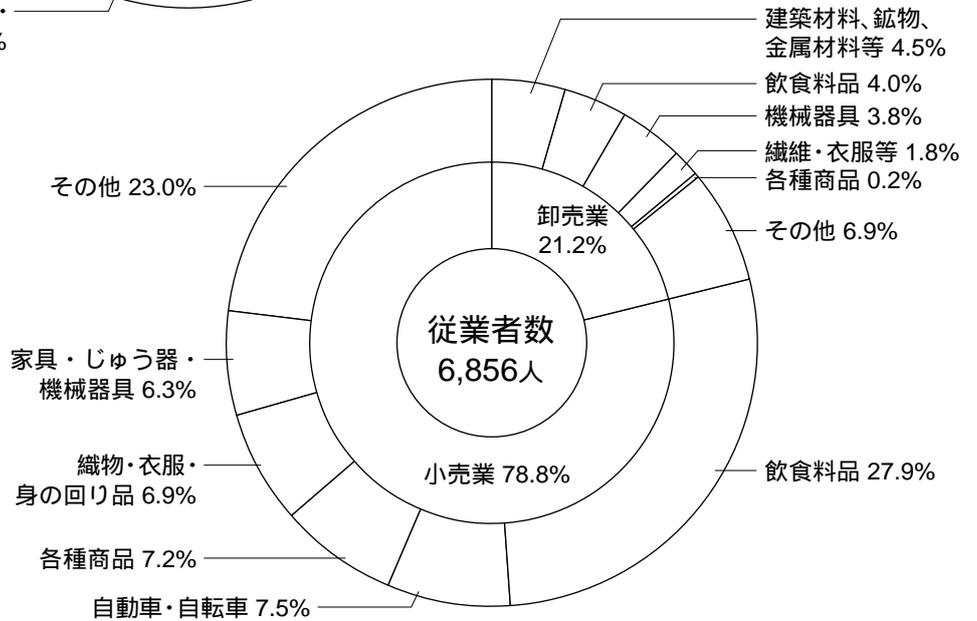
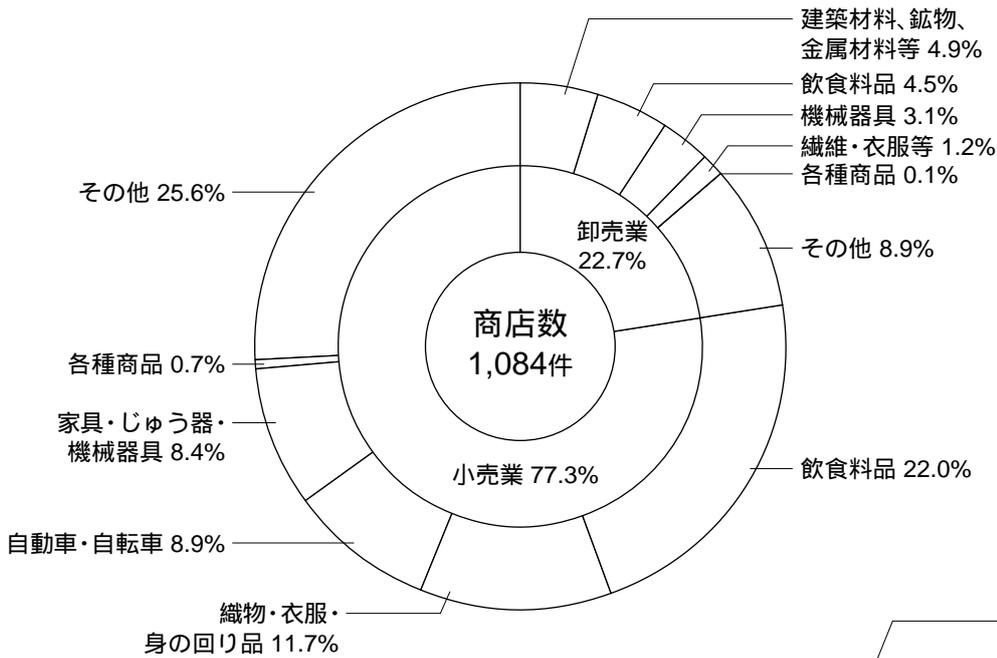
# 平成 18 年 規模別事業所数・従業員数の割合( 民営 )



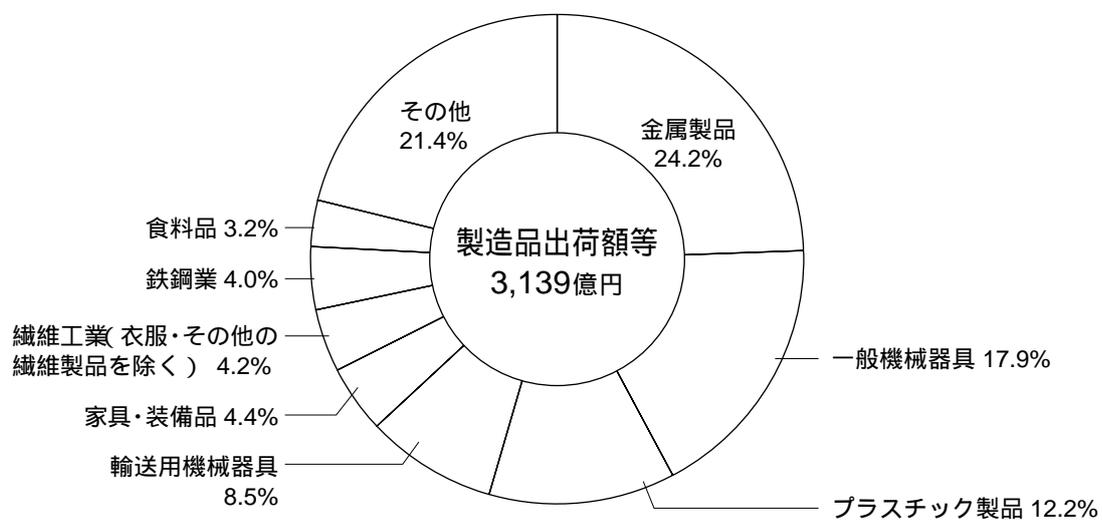
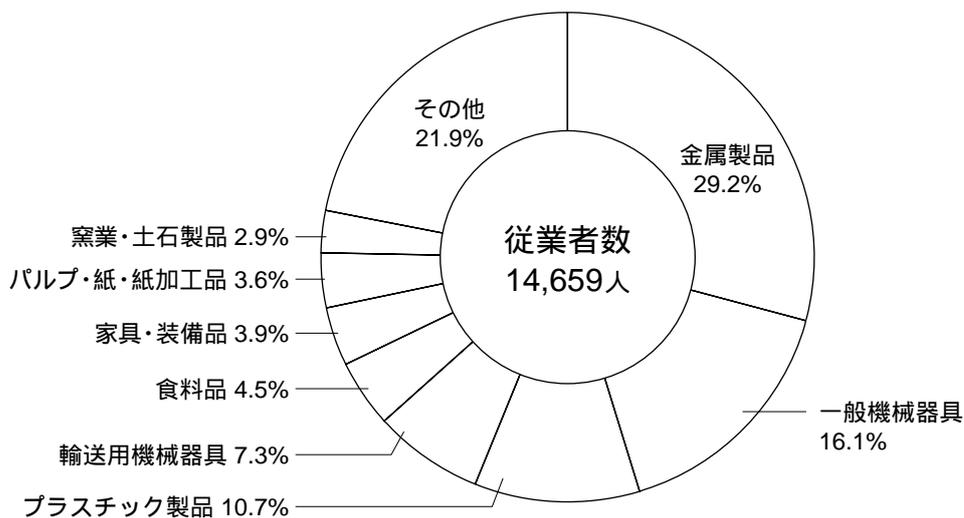
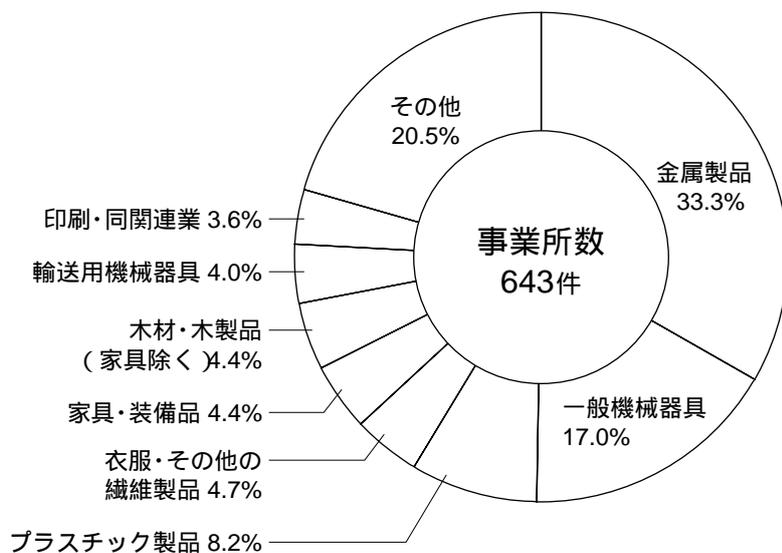
## 産業別従業員数



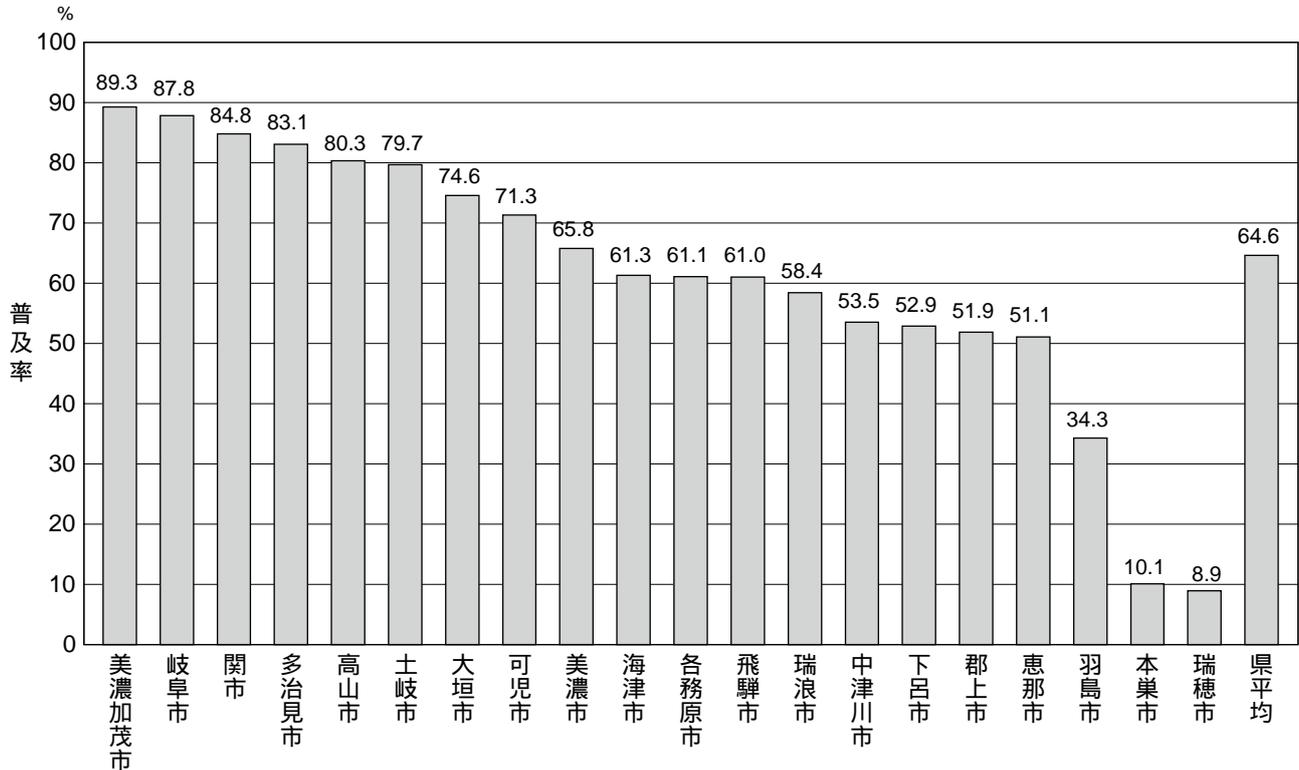
# 平成16年 商業の概況



# 平成18年 工業の概況



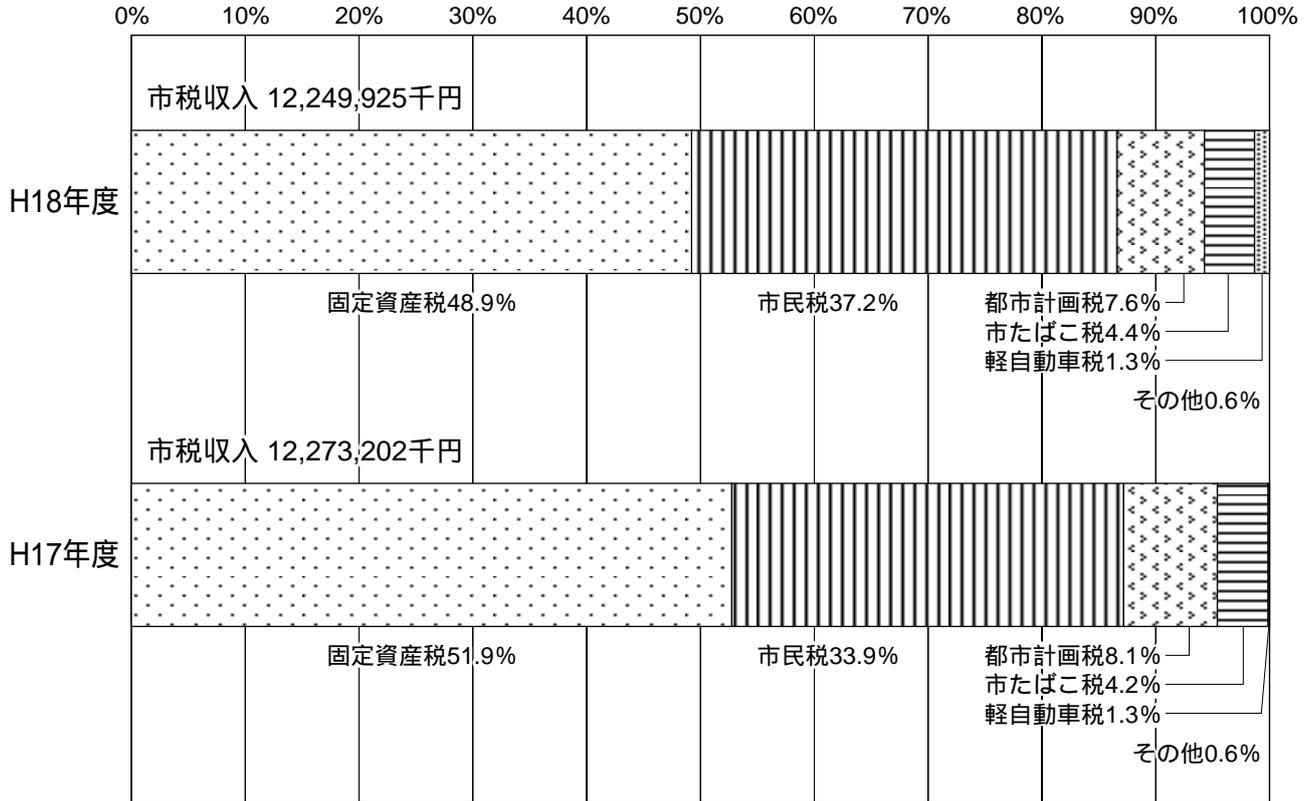
## 県下の下水道普及状況(平成19年3月31日)



注) 普及率は住民基本台帳人口に対する処理区域内人口の割合を示す。

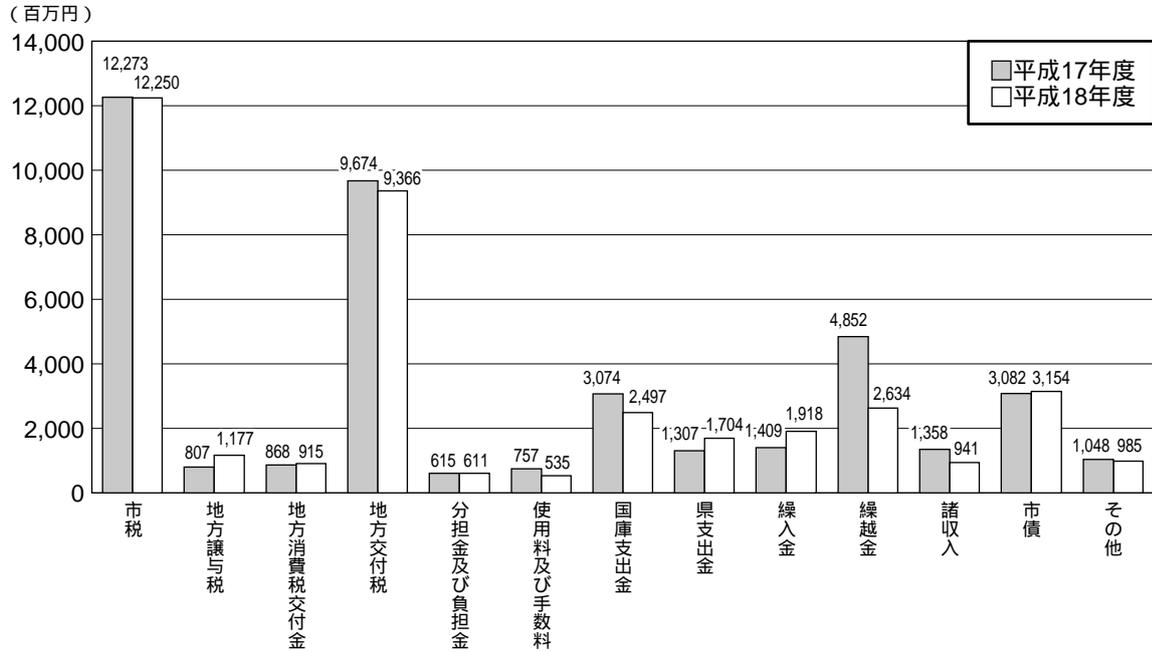
資料：岐阜県統計書

## 市税収入の内訳

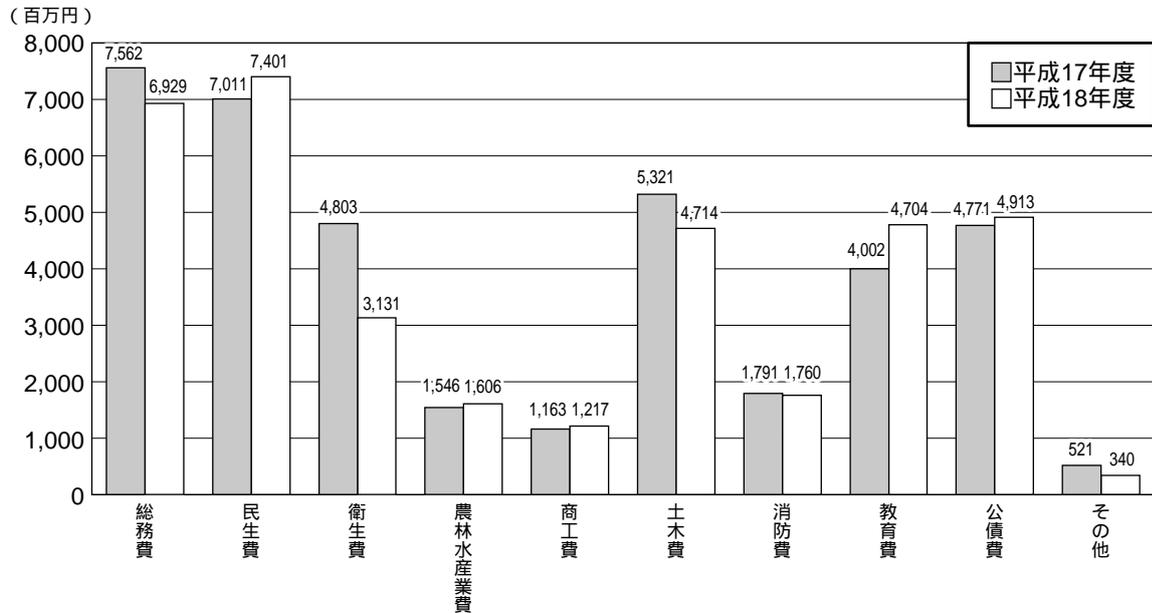


資料：総務財政課

## 一般会計歳入決算



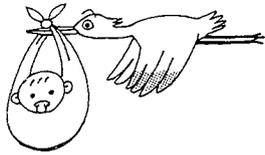
## 一般会計歳出決算



資料：総務財政課

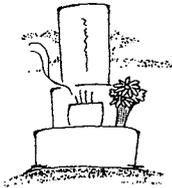
# 関市の1日

出生



2.2人

死亡



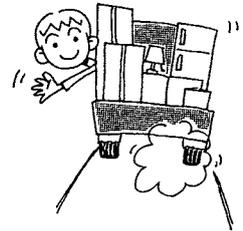
2.3人

転入



7.9人

転出



8.2人

結婚



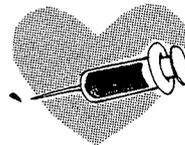
1.4組

離婚



0.5組

献血者数



6.2人

図書館利用冊数  
(わかくさ・プラザ)



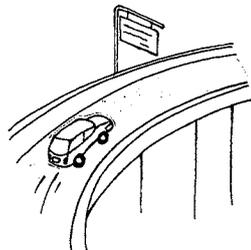
1,335冊

ごみ排出量



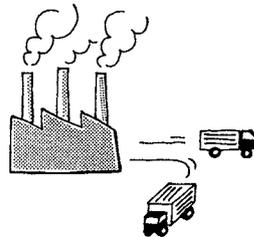
78.6t

関インター利用台数  
(東海北陸自動車道)



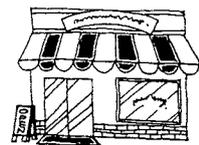
11,587台

製造品出荷額等



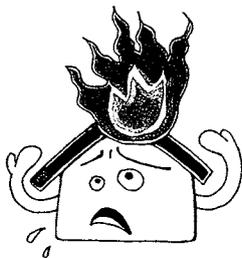
85,995万円

商品販売額  
(卸・小売)



39,108万円

火災



0.1件

交通事故  
(人身事故)



1.4件

救急出動



10.3件

水道  
(配水量)



42,027m<sup>3</sup>

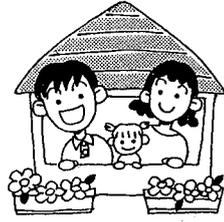
# 市の市民生活

人口密度  
(17年国調)



195.8人/km<sup>2</sup>

1世帯当たり人員  
(17年国調)



2.92人

1世帯当たりの延べ  
面積(17年国調)



119.1m<sup>2</sup>

1世帯当たりの  
乗用車数



1.9台

1世帯当たりの電話  
加入数



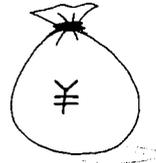
1.0台

市民1人当たりの  
一般会計決算額



387,480円

市民1人当たりの  
市税



129,283円

市民1人当たりの  
所得



2,753千円

市民1人当たりの  
都市公園面積



16.8m<sup>2</sup>

1世帯1日当たり  
のごみ排出量



2.45kg/日

市職員1人当たりの  
市民数



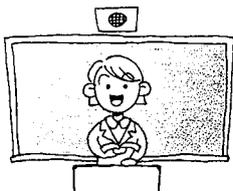
108.5人

消防職員1人当たりの  
市民数



764.1人

教員1人当たりの  
児童・生徒数



小学校15.6人  
中学校12.1人

医師1人当たりの  
市民数



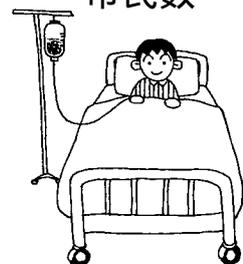
509.4人

看護師1人当たりの  
市民数



137.1人

1床当たりの  
市民数



157.9人

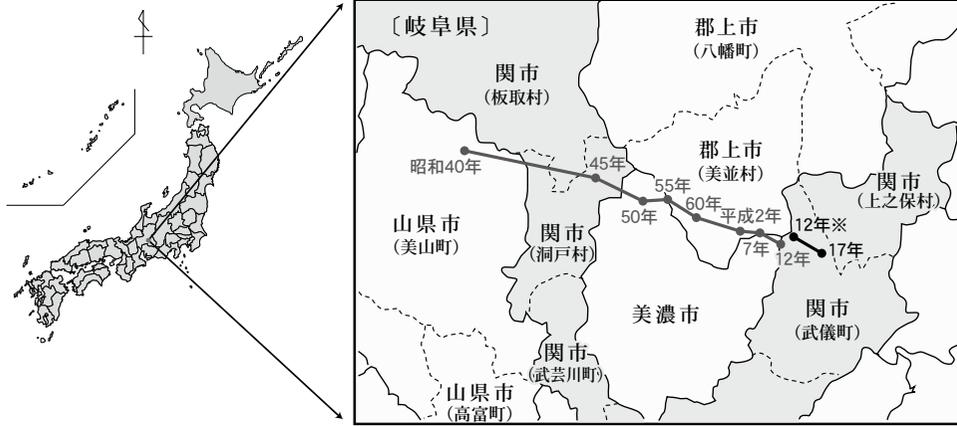
# 市域のうつり変わり

1975年 昭和50年	1965年 昭和40年	1955年 昭和30年	1945年 昭和20年	1935年 昭和10年	1926年 昭和元年 大正10年	1921年 大正元年	1912年 大正元年 明治40年	1907年 明治40年	1897年 明治30年	1887年 明治20年	1877年 明治10年	年	明治元年	現在	
												町村名	郡	藩	
			関町	(大 10.7.11) 2町村合体		関町	(明 22.7.1) 町制施行		関村				関村	武儀郡	大島 撰津守
					吉田村							吉田村	竹腰 伊子守		
			(昭 18.10.1) 2村編入	倉知村								倉知村	武儀郡	村瀬 真次郎	
				瀬尻村	(明 22.7.1) 2村合体		小瀬村					小瀬村		尾州 藩	
			富岡村						(明 22.7.1) 2村合体	池尻村			池尻村	加茂郡	松平 隼人
										市平賀村			市平賀村		幕領・西尾銀三郎
			(昭 24.10.1) 旧大平賀村を除く区域を編入 (昭 24.10.1 旧大平賀村は富田村へ編入)						(明 30.4.1) 4村合体	鑄物師屋村			鑄物師屋村	加茂郡	幕 領
										肥田瀬村			肥田瀬村		幕領・西尾銀三郎
			(昭 25.8.10) 編入						(明 30.4.1) 2村合体	(大平賀村)			(大平賀村)	山県郡	幕 領
										千疋村			千疋村		幕 領
			(昭 25.10.15) 編入、市制施行						(明 30.4.1) 6村合体	植野村			植野村	加茂郡	尾州 藩
										東田原村			東田原村		幕 領
			(昭 23.12.10 旧樋口村の区域を関町へ編入) (昭 26.3.20) 編入						(明 30.4.1)	西田原村			西田原村	加茂郡	幕領・金田三左衛門
										迫間村			迫間村		幕領・大島喜八郎
			(昭 29.9.10) 編入						(明 22.7.1) 5村合体	小迫間村			小迫間村	武儀郡	幕 領
										大杉村			大杉村		尾州 藩・幕領
			富野村						(明 22.7.1) 5村合体	稲口村			稲口村	武儀郡	幕領・寺領・西尾銀三郎
										下有知村			下有知村		幕領・寺領・池田松之助
			(昭 30.1.10) 編入						(明 22.7.1) 5村合体	神野村			神野村	武儀郡	尾州 藩
										西神野村			西神野村		竹腰 伊子守
			保戸島村						(明 30.4.1) 2村合体	上大野村 (明 6年 名称変更)			大野村	山県郡	尾州 藩
										志津野村			志津野村		幕 領
			(昭 25.8.10) 2村合体						(明 30.4.1) 2村合体	小野村			小野村	武儀郡	尾州 藩
										戸田村			戸田村		幕 領
			小金田村						(明 30.4.1) 2村合体	側島村			側島村	山県郡	幕 領
										上白金村			上白金村		岩村藩・松平乗命
			(昭 31.9.29) 旧広見村の区域を編入						(明 22.7.1) 4村合体	下白金村			下白金村	武儀郡	岩村藩・村瀬貞次郎
										小屋名村			小屋名村		幕 領
			(昭 31.9.29) 武芸村へ合体						(明 30.4.1) 5村合体	山田村			山田村	武儀郡	尾州 藩
										広見村			広見村		尾州 藩
										(跡部村)			(跡部村)		尾州 藩
										高野村			高野村		幕 領
									(八幡村)			(八幡村)	武儀郡	幕 領	
									南武芸村			南武芸村		名古屋 藩	
									(小知野村)			(小知野村)			

# 地域のうつり変わり

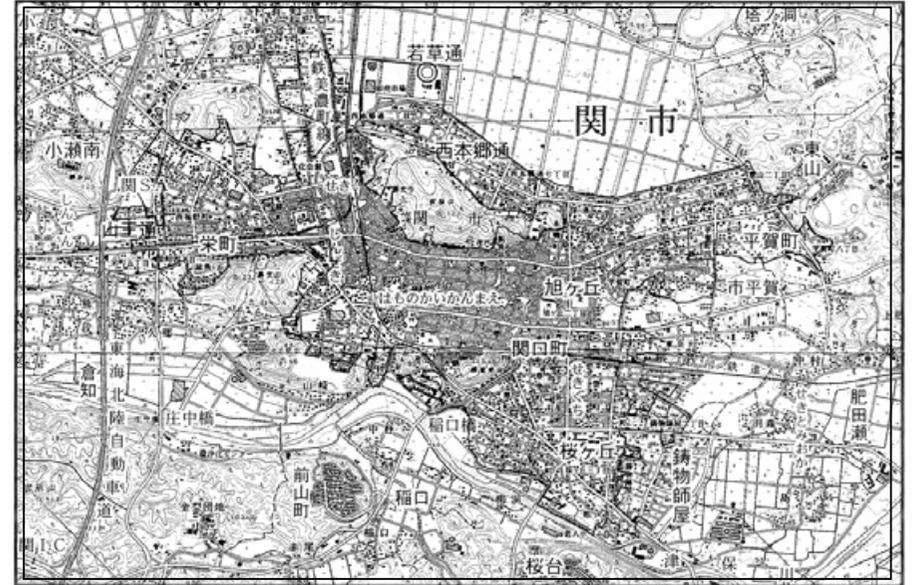
		2005年 平成17年	1995年 平成7年	1985年 昭和60年	1975年 昭和50年	1965年 昭和40年	1955年 昭和30年	1945年 昭和20年	1935年 昭和10年	1926年 昭和元年	1921年 大正10年	1912年 大正元年	1907年 明治40年	1897年 明治30年	1887年 明治20年	1877年 明治10年	年	明治元年現在						
																		町	村	名	郡	藩		
関市 (平17.2.7 編入)	洞戸村																	市場村	市	場	村	武儀郡 尾張藩		
																		通元寺村	通	元	寺		村	
																		片村	片				村	
																		栗原村	栗	原	村			
																		菅谷村	菅	谷	村			
																		(明30.4.1 8村合体)		小坂村	小		坂	村
																		下洞戸村	(明8.6 3村合体)	明7 下大野村	大		野	村
																		飛瀬村	飛	瀬	村			
																		(明7.9 7村合体)		尾倉村	尾		倉	村
																		奥洞戸村	高	賀	村			
																	阿	部	村					
																	高	見	村					
																	小	瀬	見	村				
																	老	洞	村					
																	松	谷	村					
																	白	谷	村					
																	加	部	村					
																	門	出	村					
																	岩	本	村					
																	九	藏	村					
																	松	場	村					
																	中	切	村					
																	野	口	村					
																	田	口	村					
																	保	木	口	村				
																	杉	原	村					
																	嶋	口	村					
																	門	原	村					
																	谷	口	村					
																	平		村					
																	宇	多	院	村				
																	小	知	野	村				
																	八	幡	村					
																	高	野	村					
																	跡	部	村					
																	(	広	見	村	)			
																	大	門	村					
																	町		村					
																	西	洞	村					
																	殿		村					
																	禮	野	村					
																	上	野	村					
																	多	羅	木	村				
																	比	根	村					
																	扶	井	村					
																	多	々	良	村				
																	間	吹	村					
																	若	栗	村					
																	篠	瀬	村					
																	水	成	山	村				
																	岩	山	崎	村				
																	祖	父	川	村				
																	栗	野	村					
																	町		村					
																	大	洞	村					
																	武	儀	倉	村				
																	雁	曾	礼	村				
																	宮	脇	村					
																	川	合	村					
																	船	山	村					
																	明	ヶ	島	村				
																	行	合	村					
																	島	屋	市	村				
関市 (平17.2.7 編入)		武芸川町	(昭40.4.1 町制施行)		武芸村	(明31.9.29 2村合体、但し 旧広見村の区 域を除く)		東武芸村 (明22.7.1 3村合体)		南武芸村 (明30.4.1 5村合体)		(昭31.9.29関市へ編入)		谷口村		(明22.7.1 3村合体)		平	村	武儀郡 名古屋藩				
																		宇	多		院	村		
																		小	知		野	村		
																		八	幡		村			
武儀町		(昭46.4.1 町制施行)		武儀村		(昭和30.4.1 3村合体)		下之保村		中之保村		富之保村		(年次不詳 7村合体)		(年次不詳 6村合体)		大	門	村	武儀郡			
																		町		村				
																		禮	野	村				
上之保村																		比	根	村	武儀郡 名古屋藩			
																		扶	井	村				
																		多	々	良	村			
																		間	吹	村				
																		若	栗	村				
																		篠	瀬	村				
																		水	成	山	村			
																		岩	山	崎	村			
																		祖	父	川	村			
																		栗	野	村				
																		町		村				
																		大	洞	村				
																		武	儀	倉	村			
																		雁	曾	礼	村			
																		宮	脇	村				
																		川	合	村				
																		船	山	村				
																		明	ヶ	島	村			
																		行	合	村				
																		島	屋	市	村			

我が国の人口重心の推移 (昭和40年~平成17年)



注) 実線は平成17年10月1日現在、破線は平成12年10月1日現在の市町村境の境界。  
 なお、( )内は平成12年10月1日現在の市町村名。  
 ※ 平成12年~17年の移動距離を算出するため、17年の算出方法により遡及計算したもの。

平成12年国勢調査



岐阜県の人口重心の推移 (昭和55年~平成17年)

- 県の人口重心 (~H12)
- 県の人口重心 (H12~)
- 〃 移動線 (~H12)
- 〃 移動線 (H12~)



※ 平成12年~17年の移動距離を算出するため、17年の算出方法により遡及計算したもの。

平成17年国勢調査

